

第六十一日目

師 範：板垣退助らとともに政府を去った西郷隆盛は故郷の薩摩で、もとの武士たちにかつがれて、西南戦争を引き起こしました。



近代で最大の反乱となりました。西郷軍約3万人。政府軍は約6万人。

しかし徴兵令で集められた農民たちの政府軍に、薩摩の武士たちは敗れました。士族は武力での反抗の届かない時代になったことを知りました。

この戦争は、1877年の冬の1月30日に始まり、9月24日まで続きました。

1877年 西南戦争がおこる。

この年を覚えましょう。

コン太：これはいかがでしょうか。



「不平士族が一花投げる西郷の墓」

「ひとはな」は187、「な(げる)」は7です。

師 範：西郷軍の兵士は不平士族と呼ばれていた。彼らがリーダーとして信頼した西郷は戦いに敗れて没した。その墓に、生き残った西郷軍の兵士が、一つの花を手折って投げる。そんな情景が目には浮かびます。

なかなかよいですね。

少し直すと

「士族らに一花投げる西郷ドン」

ペン太：きれいにまとまりましたね。

